

かわと生きる

一(社)十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会



十勝生まれの鮭と再会
生命をいただき
また自然界へと送り出す

清らかな水辺、豊かな自然があるからこそ
いただく事のできる自然の恵み

北海道の漁業を代表する魚の1つに「鮭」がある。
ここ十勝でも鮭は重要な水産資源であり
一般社団法人十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会が
管理している十勝川と猿別川の漁場へと伺うことができた。
鮭の捕獲作業は9月中旬～12月上旬まで行われ
ふ化施設で採卵、受精した卵は12月ごろにふ化し
4月上旬～5月にかけて川へ放される。
報道に出ることもあるが、近年鮭の捕獲量が減少している。
放流している個体量は変わっていないとのことなので
回遊している間に何らかの影響を受けているのかもしれない。
また、海で過ごす時間が長くなっているとの話もある。
この自然の恵みをいただいている我々にできることは
今ある自然を出来る限り守ることだと思う。



捕獲された鮭はすぐに雌
と雄に分けられ採卵場へ
向かいます。採卵・受精は
朝の6時30分ごろから行
われます



猿別川鮭捕獲場

中川郡幕別町旭町にある鮭捕獲場。川幅いっぱい堰を築き
遡上遡上してくる鮭を捕獲して
いる



千代田堰堤鮭捕獲場

北海道内でも珍しいクレーン
を使って鮭を捕る漁場。以前は網
を投げて大人数で捕獲してい
た。

魚道観察室ととろーど

幕別本町近くの相川に鮭などの遡上をガラス越しに見ることができる施設
「魚道観察室ととろーど」がある。8月末ごろから鮭の見頃をむかえる。

- 開館期間 / 4月下旬～11月下旬
- 開館時間 / 9時30分～17時(10月は16時30分、11月は16時まで)
- 休館日 / 期間中は無休
- 幕別町相川127番地

